



ARIB・TTC 共催セミナー

IoT ビジネス開発者向け oneM2M チュートリアル

～IoT/スマートシティにおける、アプリケーション・データ連携と



エコシステムの構築～



- 日時：2018年8月31日（金） 14:00 ～ 17:30
- 会場：TTC 2F 会議室 AB <http://www.ttc.or.jp/j/intro/map/>
- 主催：一般社団法人 情報通信技術委員会（TTC）
一般社団法人 電波産業会（ARIB）
- 後援：一般社団法人 日本 OMG
IIC Sales Representative Japan
- 参加費：無料
- 参加対象：
 - ✓ IoT アプリケーション開発ご担当者様、システム開発のパートナー様、
 - ✓ IoT ビジネスの構築・検証をご検討の方
 - ✓ oneM2M を活用した IoT やスマートシティ実現をご検討の方
- 申込み：TTC ホームページの参加申込みサイトからお申込みください。
<http://www.ttc.or.jp/j/info/seminar/seminar20180831/>
- 問い合わせ：（TTC 事務局） 住田正臣 sumita@s.ttc.or.jp
（ARIB 事務局） 中村一夫 k-nakamura@arib.or.jp

昨今、IoT 社会の実現の動きが活発化し、LPWA ネットワーク技術の活用や、次世代モバイル通信システム（5G）の開発を通じて、IoT や AI、スマートシティへの期待が高まり、様々な社会システム構築や、ビジネス展開への取組みが行われています。

既存システムやサービスの単なる ICT 化でなく、IoT によって新しいサービスの創造や、ビジネスイノベーションを目指すためには、さまざまな産業界が相互に連携する IoT システムの提案や、世界中どこにいても共通のサービスが受けられるスマートシティなど、異分野横断やグローバルサイズでのエコシステムの実現に向け、アプリケーションの相互接続、データ連携が必要不可欠となります。

oneM2M は、IoT/スマートシティのサービス共通プラットフォームを実現する唯一の国際標準であり、ベンダーロックインのないオープンな特徴とともに、開発当初から、他のさまざまなプラットフォームとの相互接続やあらゆる通信ネットワークの収容、徹底したアプリケーションやデータ連携を目指して開発されており、IoT サービスの提供に必要な機能をワンセットで規定するプラットフォームとして、世界中で IoT/スマートシティのシステム構築に向けて適用が進んでいます。

ARIB/TTC は、本年 2 月に oneM2M に関するチュートリアルセッションを開催し、多くの皆様から好評を頂きました。

今回は第 2 弾として、実際に IoT/スマートシティのアプリケーション開発・ビジネス展開を目指していらっしゃる皆様に向けて、既に商用展開されている oneM2M プラットフォームおよび、実際のビジネス適用事例についてご紹介をいただきます。

また、ウェアラブルデバイスのデータ収集のケースを例に、oneM2M におけるアプリケーション開発の実際を、ステップバイステップでご確認いただき、oneM2M の IoT への適用を簡単に理解いただけるチュートリアルを開催します。

さらに、エンドツーエンドでのインターオペラビリティを検証する、oneM2M 相互接続イベントのご紹介もいたします。

IoT をビジネスに広く展開することを検討されている、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講演プログラム（14:00~17:30）

司会：三村 哲也 氏（株式会社 NTT ドコモ R&D 戦略部 国際標準化担当 担当部長）

時間	講演内容
14:00-14:05 (5分)	開会挨拶 株式会社 NTT ドコモ R&D 戦略部 国際標準化担当 担当部長 ARIB 高度無線通信研究委員会モバイルパートナーシップ部会 oneM2M 対応 WG 主査 三村 哲也 氏
14:05-14:35 (30分)	IoT/スマートシティを実現するオープンプラットフォーム oneM2M ～IoT イノベーションのためのアプリケーション・データ連携と標準化の最新動向 KDDI 株式会社 技術企画本部 標準化推進室 oneM2M Edge/Fog Computing 共同ラポータ 山本 賢一 氏
14:35-15:20 (45分)	ソフトバンクの IoT プラットフォームのご紹介 ～oneM2M をサポートした B2B 向けプラットフォームの取組み ソフトバンク株式会社 IoT 事業推進本部 菊地 仁 氏
15:20-15:40 (20分)	休憩
15:40-17:00 (80分)	oneM2M アプリケーション開発チュートリアル ～ウェアラブルデバイスのデータ収集アプリケーション：oneM2M アプリケーション開発の実際 株式会社 KDDI 総合研究所 スマートセキュリティグループ 奥井 宣広 氏 東京システムハウス株式会社 IoT サービス事業部 モバイルビジネス部 佐藤 導吉 氏
17:00-17:20 (20分)	oneM2M 相互接続イベント“Interop”の紹介と参加に向けて ～エンド・ツー・エンドのインターオペラビリティ実現に向けて 日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所 ユビキタスサービスシステム研究部 原田 恵 氏
17:20-17:30 (10分)	閉会挨拶 日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所 ユビキタスサービスシステム研究部 TTC oneM2M 専門委員会 副委員長 山崎 育生 氏
17:30-18:00 (30分)	oneM2M による IoT ビジネス相談（閉会后） ソフトバンクの IoT プラットフォームと、IoT ビジネス創出について、個別にご相談いただけるコーナーを準備しました。 また、それぞれのご講演者や、チュートリアルの内容に対するご質問などにも対応していただけます。

（プログラム、講演内容は変更になる可能性があります）